

## 【下北】東通村立東通小学校

### 内容（１）放送による読み聞かせ

毎週木曜日、給食の時間に放送で読み聞かせをしている。時間は10分程度。できるだけ時間内に読み終えることができる長さの本を選んでいるが、時間内に読み終えることができない場合は、次の日も読むことがある。放送で紹介した本は図書室の中で展示しておくことで、また読みたいと思った児童がいつでも読んだり借りたりできるようにしている。

### 内容（２）毎月の本の紹介

毎月、図書室以外の場所（子供たちがよく通るランチルームの壁面）で、その月に見合った本や新刊本、おすすめの本を月の季節に応じた装飾を加えながら紹介している。

### 内容（３）折り紙コーナー

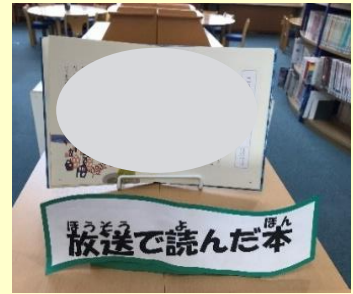
折り紙の本、折り紙、テープ等製作に必要なものを準備し、子供たちが自由に作ることができるコーナーを設けている。お互いに教え合う微笑ましい光景が見られる。

### 内容（４）図書委員会による読書推進活動

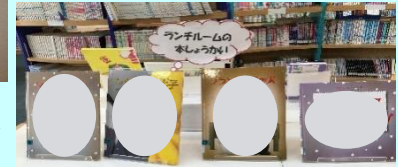
図書室以外の場所に図書委員会のコーナーを設け、そこで図書委員のおすすめの本を紹介している。年に1～2回は読み聞かせも実施している。

【成果】児童の目に付く場所に本の紹介コーナーを設置したり、毎週、放送で読み聞かせをすることにより、児童が図書室を利用するきっかけとなった。さらに、展示した本と関連のある内容の本を探す姿も見られるようになってきた。図書委員のおすすめの本を写真付きで紹介したところ、立ち止まって見る児童が増え、図書室に足を向けてくれる児童も増えてきた。

【課題】高学年の図書室利用が減少傾向にあるため、興味・関心に合う本のリーフレット作成や、図書委員の活動としてクラスでの本紹介を行うなどの工夫を加えていきたい。授業等、各学級で図書の活用が増すよう、学級担任の先生方と積極的に連携を図りたい。



（１）放送による読み聞かせ



（２）毎月の本の紹介



（３）折り紙コーナー



（４）図書委員の本紹介